

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	膝前十字靭帯再建術後患者におけるスクワット動作および着地動作時の代償的運動戦略の解明		
2. 対象患者	以下の期間に膝前十字靭帯損傷に対して当院で膝前十字靭帯再建術を行う患者様		
3. 対象となる期間	2021年 12月 1日 ~ 2025年 3月 31日		
4. 実施診療科等	リハビリテーション科、医療技術部リハビリテーション部門		
5. 研究責任者	氏名	千々松 雅人	所属 リハビリテーション部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	スクワット動作や着地動作時の代償的運動戦略を明らかにすることで、再損傷予防に有効な術後リハビリテーション確立の一助となります。また、動作課題間の関連性を明らかにすることで、負荷の低いスクワット動作を解析することで負荷の高い着地動作の代償的運動戦略を予測することが可能となると考えられます。		
8. 研究の目的	本研究の目的は、三次元動作解析装置を用いて、膝前十字靭帯再建術後患者を対象としたスクワット動作、着地動作における運動戦略を明らかにすることです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	年齢・性別・身長・体重・今までどんなけが、病気をしてきたかなどについて質問・測定します。その後で運動しやすい服装（スパッツ、Tシャツ）に着替えていただき、マーカーを貼らせて頂き動作測定を行います。動作は両脚や片脚のスクワット動作、着地動作となります。 他に診療録から手術前後の理学所見（疼痛の有無、膝関節可動域、膝関節不安定性の有無、筋力等）などの情報を収集します。また膝関節機能を評価するアンケート調査も実施します。		
10. 個人情報の保護	収集する情報には個人を特定する情報は含まれません。本課題により得られたデータは本人が申請した場合にのみこれを開示できます。またデータの使用は本課題に関連した学術会議での発表、論文作成に限定し、個人が特定されることはありません。患者様より拒否の申し出があった場合は対象者から除外し、データを削除します。ただし、すでに研究結果公表済みの場合はデータを収集することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本研究に対して個人的な資金提供や便宜が行われることは一切なく、利益相反関係にある組織はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 リハビリテーション部 千々松雅人		
	電話	0172-39-5318	FAX 0172-39-5318